

日時・場所	平成30年9月25日(火) 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、瀬川議会事務局長、竹中政策調整部長、小山総務部長、田中市民部長、高橋健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、三上都市建設部長、遠藤環境経済部長、吉川教育部長、川端会計管理者、吉田政策調整部次長、北脇広報秘書課長、事務局(企画調整課)

1. 市長指示事項

- 9月22日・23日とオクトーバーフェストが開催され、予想以上に多くの参加をいただき盛況であった。商工経済団体が中心だが、その他もいろいろな団体に協力いただき、子どもや高齢者、車椅子の方等、年代や地域も多様な方々に参加いただいた。会場でも「是非続けてほしい」や「病院ができたらどこですか」等、期待や不安の声をいただき、期待感の高さを感じた。今年は市が事務局を持つ形となり、環境経済部を中心に職員に貢献いただいたが、できるだけ市民型で開催できるようになればと思う。音楽の力や食べ物・飲み物の力で、空間を一緒に過ごし、一緒に楽しむ、今の言葉でいうとシェアするという楽しさを市民や近隣の方にも実感いただけた。これからのまちづくりはそういう場をいくつか作っていくことが大切である。
また、昨日、やすまる広場の実行委員会が行われ、市民発議で恒常的な実行委員会とする決定が行われた。やすまる広場も市民の主体的参加で行っており、このような動きを大切に、一緒に伸びるようにしてほしい。
- 野洲市ではミスがあれば即公開し、当事者に謝罪するとともに、改善方法を示すようにしている。先週ある部署でミスの報告があったが、どこかで目処がたつのではないかという思いで報告が2ヶ月遅れた。問題があればまずその時点で公開し、共有化することを再度徹底するように。改善方法は追って出せばよく、その都度情報を出すよう改めること。
- 新規採用職員の研修の一環で3班に分けて話を聞いたが、決裁の押印が多すぎるのではないかと疑問を投げられた。全くその通りであり、以前に指示も出しているが、改善されていない。決裁の印鑑は上位者が確認し、判断を積み上げるためであるので、チェックする立場の者が押せばよい。情報共有の場合も、ミーティング等の手段でもできることである。無駄な印鑑が押されて時間と労力がかかるという不合理性があり、問題点を押さえて改善するように。

2. 報告事項

① 小篠原台地区計画について

[所管:政策調整部]

小篠原台地区計画について、野洲市都市計画審議会での諮問答申及び県との協議を終え、市の都市計画決定を9月14日付けで行ったので報告する。

5.7haの住宅用地であるA地区、2.3haの事業用地であるB地区で構成される。市街化調整地域での地区計画は市内で3箇所目であり、今後建築制限条例の制定を予定している。

→野洲中学校の通学路は変わるのか。

→現在協議中である。幅3mの自歩道を設ける予定をしている。小学生の通学路についても協議中である。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- 10月19日に平成30年度野洲市消費者行政推進事業シンポジウムを野洲文化小劇場で開催する。(市民部)
- やすまる広場実行委員会が9月24日に開催され、恒常的な実行委員会として市民によって発足された。来年度は6月2日開催とし、準備を進められる。(市民部)
- 9月21日から30日まで全国交通安全運動が実施される。今年の県内の交通死亡事故は9月23日現在で25件であり、昨年度と比較して10件減っている。この機会に職員も職場または自身で交通安全に努めてほしい。(市民部)
- 9月22日・23日に開催されたオクトーバーフェストでは約35,000人に来場いただいた。一昨年度は約20,000人の来場者であり、非常に盛況であった。協力に感謝する。(環境経済部)

5. 次回部長会議の予定

10月1日(月) 8時45分～ 庁議室